

熊本地震被災地への義援金を受け付けています



7月28日に発生した令和8年熊本地震により、犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

市では、被災地の日も早い復旧・復興と、被災された皆様の生活を支援するため、義援金を受け付けています。寄せられた義援金は、日本赤十字社を通じて被災地へお届けします。

【義援金募金箱の設置】

◆設置期間…当面の間

◆設置場所…市役所税務課窓口付近

◆受付時間…午前8時30分～午後5時15分(土、日、祝日を除く)

詳細は
こちら



設置されている募金箱

問い合わせ先

市役所福祉課福祉係(内線261)

教えて SDGs Sustainable Development Goals

その先の笑顔のため、いまでできること

★SDGsとは… 自分子どもや孫たちが暮らす未来に、住み続けられる世界を残すため、掲げられた全世界の人が取り組むべき17の目標。

あなたもぜひSDGsに取り組んでみませんか？

本市は、令和元年(2019年)7月に「SDGs未来都市」に県内で初めて選定されました。

本コーナーでは、本市でSDGsの達成に向け積極的に取り組んでいる人・団体、関連イベントなどを紹介しています。

「海に入りたい」という想いを、みんなでサポート ユニバーサルビーチ体験会

本年も障がいの有無に関わらず、みんなで一緒に海水浴を楽しむ「ユニバーサルビーチ」の体験会が、8月9日(日)、高田松原海水浴場で開催されました。

「ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくり」の一環として、令和4年から行われている本イベント。当日は5組の親子が参加し、ライフセーバーやボランティアのサポートを受けながら、水陸両用車いすなどに乗って海水浴を楽しみました。当日は天候にも恵まれ、快晴のもと参加者は海を満喫し、笑顔が弾ける時間となりました。

今回は、ユニバーサルビーチの仕組みやビーチマットなどの用具の導入を全国で広げている「須磨ユニバーサルビーチプロジェクト」の代表・木戸俊介さんも駆けつけ、参加者たちと一緒に海を楽しみました。

★須磨ユニバーサルビーチプロジェクト代表 木戸俊介さん

私自身が車いす生活になったあと、リハビリ先のオーストラリアのビーチで、車いすのままでも海を楽しめるビーチマットに出会い、「あのときの感動を、ぜひ日本でも実現したい」と思ったのがこの活動の原点です。障がいのために普段は海に入れない人たちに、冷たさといったリアルな感覚や、楽しいという気持ちを実際に体感してもらいたいと思っています。この日も、参加した子どもの嬉しそうな顔が見られてよかったです。

★戸羽紋那さん(小学2年)と母・美智子さん(高田町)

2年ぶりに一緒に来ることができた。たくさんのスタッフの人についてもらっているの、いざという時にも安心できる。今日は子どもの嬉しそうな笑顔が見られてよかった。またの機会があれば利用したい。



スタッフに見守られながら海を楽しむ子ども

6歳からシニアまで、家族みんなで体を動かす楽しさを体験しませんか？



「令和8年度体力測定会 & 法政大学健康運動教室」

令和8年度体力・運動能力測定会を実施します。

本年度は、握力などの体力測定のほか、法政大学の教授による目からウロコの「健康講話」、法政大学の大学生と一緒に楽しく体を動かす健康運動教室を実施します。

日頃の運動不足を見直す絶好のチャンスです。動きやすい服装で、ぜひお気軽にご参加ください！

◆日時：10月10日(土)

65歳以上の部…午前10時～正午(受付：午前9時～)

6～64歳の部…午後2時～午後4時(受付：午後1時40分～)

◆場所：夢アリーナたかた

◆参加費：無料

◆持ち物：上履き、動きやすい服装、タオル、飲み物など

◆申込方法：申し込みフォーム、市地域包括支援センターまたは市役所交流推進課スポーツ交流係まで申込用紙を提出。

申し込み
はこちら



◆申込期日：9月30日(水)

◆申込用紙配布場所：市地域包括支援センター、市役所交流推進課スポーツ交流係、夢アリーナたかた

体力・運動能力測定会

【共通項目】握力、上体起こし、長座体前屈

◆65歳以上の部：ADL判定、開眼片足立ち、10m障害物歩行、6分間歩行

◆6～64歳の部：反復横跳び、立ち幅跳び、20mシャトルラン

法政大学健康運動教室

◆健康講話：講師 法政大学生命科学部大学院スポーツ健康学部研究科教授 越智英輔先生

◆法政大学生による健康体操および測定会：血圧、血管硬度、膝伸展筋力など



問い合わせ先

市地域包括支援センター(内線219)、市役所交流推進課スポーツ交流係(内線415)